

市場化テストの取組状況

市場化テストとは

国や地方公共団体が行っている仕事の中には、例えば住民票や戸籍謄本の請求受付、引渡しなどの窓口業務や統計調査、職員研修など、必ずしも公務員が行わなくても、民間の企業や団体にもできる仕事があります。これらの仕事について、民間が行えることとし、どちらが住民によりよい公共サービスを提供できるかを競い合わせる事が可能になり、その結果、公共サービスの質の向上（窓口業務のスピード化など）や経費の削減につながると期待されています。

【平成19年4月調査】

団体名	取組状況			導入(予定)業務	入札(予定)時期 事業開始(予定)時期	事業開始までのスケジュール 検討のスケジュール・検討内容
	導入済	検討中	今後検討予定			
敦賀市		○		未定	未定	庁内に検討組織を設け、本格導入に向けた検討を行っている。今後、検討の結果により各部局で導入の詳細検討を実施予定
大野市			○	未定	未定	現在、大野市行政改革推進本部で制度内容等について調査を行っている段階
勝山市			○	未定	未定	今後、市場化テストの導入検討組織を設け、全事務事業を対象にした事業の仕分けやその中で対象となり得る業務の洗い出しを行う予定
あわら市			○	未定	未定	今後、市場化テストの庁内検討組織を立ち上げ、事務事業の洗い出し、選定等を行う予定
越前市			○	窓口業務 徴収業務 統計業務	未定	平成19年度から窓口業務、徴収業務、統計業務について情報収集、他市の動向調査を行い、導入の可能性を検討
越前町			○	未定	未定	庁内にプロジェクトチーム等を設置し、事務事業の洗い出し作業を行っている。その中で、市場化テストの導入可能な業務があるかどうかの検討を行う予定